

発酵下水汚泥コンポスト エコポエース

建設技術審査証明(都市緑化技術)取得品 第1601号
審査:国土交通省所管 (財)都市緑化技術開発機構

都市の土壌には、サイクルが足りない。

コンクリートやアスファルトに囲まれ、生育空間が著しく制限されている都市緑化。そこには、肥沃で豊かな土壌を生み続けるサイクルが欠けています。問題解決のキーワードは、土壌微生物による活性化。「エコポエース」は、有用な微生物を多く含む有機系土壌改良資材(エコ・コンポスト)。土壌に3~10%混入することで、植物を健全に育成する土壌環境を生み出します。

安全

成分分析、重金属等分析、その他有害物質の定期分析など、植物の育成阻害に関する試験を行うとともに、発酵の期間、温度、回数をしっかり管理しています。

土壌改良効果が高い

バーク堆肥に比べ、1/3~1/5程度の使用量で、土壌の養分供給、保肥力の改善が可能です。

取り扱いが簡単

熟度が高いため、ほとんど臭いせん。べとつかず良く土壌に混ざり、保管も容易です。またバーク堆肥と比べ使用数量が減るため、置場の確保も楽になります。

安定した供給が可能

原料(下水汚泥)の受け入れ量や生産設備が小さい工場では、一時的にでも出荷量が増えると生産が追いつかなくなります。エコポエースは、高品質なコンポストを安定供給できるように生産設備を整えています。



発酵下水汚泥コンポスト
エコポエース

規格	内容量
8mmアンダー	30ℓ (22kg)
3-8mm	30ℓ (20kg)

1.3m³フレキシブル・コンテナ入りもご用意できます。
※肥料取締法の関係で、保証書は重量表示となります。

工場長のこだわり

「モノづくり」・・・
工場長1番のこだわりは「発酵」でした。

酒・味噌・醤油・納豆。

素材を、日本の伝統的な食品へと導く重要な役割が「発酵」です。この発酵過程の良し悪しは、その後の性質を決定づける大きな要因ともなります。それはコンポストづくりも同じです。株式会社ピラミッド・栃木工場長「大石芳隆」の一番のこだわりも、「発酵」にありました。

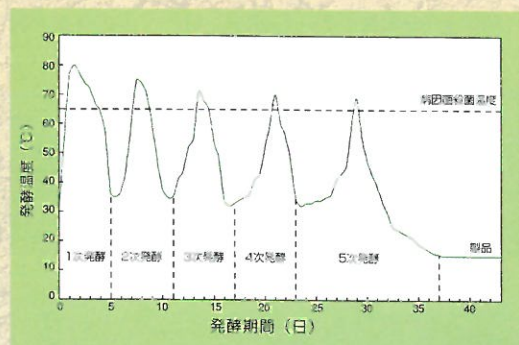
モノづくりの難しさ。

それは、原料となる下水汚泥の性質が毎回異なることです。原料受け入れは、関東から東北まで、40ヶ所以上に及んでいます。しかも色や水分量も、性質も日々バラバラ。それを工場長以下13名のスタッフが安定したコンポストに仕立てていくのです。

決め手は5回以上の切返し

確かな品質に欠かせない「発酵」。その「発酵」を促すために、丹念に切り返しを行い、5次発酵まで十分熟成させます。ポイントは切返しのタイミングと発酵温度。高温での発酵により、病原菌・虫害を含まず、悪臭やべとつきのない使いやすいコンポストが生まれます。品質を確認するため、毎日20ヶ所で性能チェックも行います。

こだわりは、モノづくりだけでなく周辺環境にも。ニオイがつかない車の受け入れ方法の確立から、工場内排水そして廃棄物のゼロ化まで。目標は、女性がハイヒールで見学できるようなクリーン工場にすること。その実現は近そうです。



コンポスト化における発酵温度と発酵期間



大規模堆積型発酵槽



「しあわせ環境クリエイター」
東邦レオ株式会社

エコ炭との併用

土壌にエコポエースを混入することにより、微生物性が高められ、植物の健全な生育を促します。改良時には、これら微生物の住み家になる「エコ炭」との併用をお薦めしています。同時に、土壌の通気性、保水性も向上します。「エコ炭」は、パルプスラッジを炭化させた100%リサイクル土壌改良材です。非常に微細な孔隙を有し、土壌の物理性を改善します。

エコ炭(再生炭)

■容量/30リットル

■容器/ポリエチレン製袋

都市緑化技術・技術審査証明
取得品(第1603号)

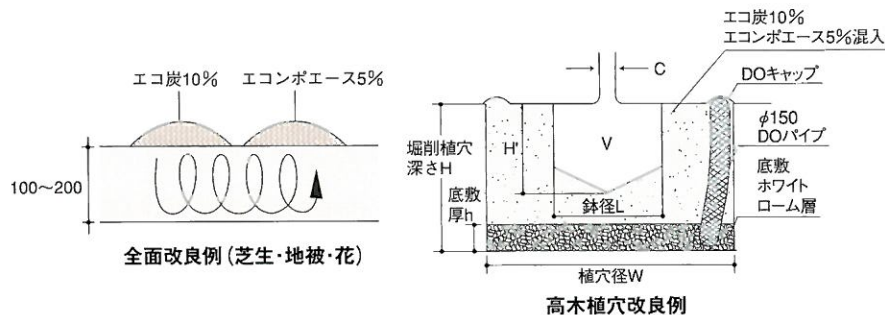
■エコポエース・エコ炭 納入事例/兵庫(芦屋)緑地



施工中の様子



施工後



	C	L	H'	W	V	H	排水層h		客土量	客土材内訳8.5:1:0.5			残土量	DOパイプφ150		DOキャップ
	幹まわり	鉢径	鉢の深さ	植穴径	鉢容量	掘削植穴深さ	ホワイトフォームTC厚み	ホワイトフォームTC必要量		現地発生土85%(×1.1)	エコ炭10%(×1.1)	エコポエース5%(×1.1)		本数	長さ	
	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)	(m³)	(cm)	(cm)	(リットル)		(m³)	(リットル)	(リットル)		(本)	(m)	(個)
高木	10未満	33	25	69	0.017	45	8	30	0.073	0.068	8	4	0.064	2	0.6	2
	10以上 15未満	38	28	75	0.028	48	8	35	0.112	0.105	12	6	0.088	2	0.6	2
	15以上 20未満	47	33	87	0.061	56	10	59	0.209	0.195	23	11	0.167	2	0.6	2
	20以上 25未満	57	39	99	0.110	63	10	77	0.330	0.309	36	18	0.260	2	1.0	2
	25以上 30未満	66	45	111	0.170	69	10	97	0.480	0.449	53	26	0.373	2	1.0	2
	30以上 35未満	71	48	117	0.210	77	15	161	0.550	0.514	61	30	0.499	2	1.0	2
	35以上 45未満	90	59	141	0.400	90	15	234	0.940	0.879	103	52	0.853	3	1.0	3
	45以上 60未満	113	74	171	0.740	105	15	344	1.540	1.440	169	85	1.447	3	1.5	3
	60以上 75未満	141	91	207	1.320	129	20	673	2.380	2.225	262	131	2.585	4	1.5	4
	75以上 90未満	170	108	243	2.080	153	25	1,159	3.370	3.151	371	185	4.119	4	1.5	4

注意事項

- エコポエースは、有機物を微生物の働きにより堆肥化したものです。高温・多湿状態になると分解が進むことがあります。購入後は直射日光を避け、風通しの良い涼しい場所に保管し、できるだけ早くご使用ください。
- エコポエースは有機物資材ですので、保管中に放線菌等の働きにより部分的に変色することがありますが品質に問題はありません。
- フレキシブルコンテナバック(フレコンバック)での納入の場合、多少の時間を要する場合があります。あらかじめご相談ください。
- 目に入った場合には擦らず洗い流し、異常が認められた場合は医師にご相談ください。また誤って口から入った場合は、水で洗浄した後、医師にご相談ください。



建設コンサルタント登録(造園部門) 国土交通大臣許可(特14-1531号)

●緑化関連事業部

東京事務所 〒170-0004 東京都豊島区北大塚1丁目15番5号 ☎(03) 5907-5500(代) FAX(03) 5907-5510
大阪事務所 〒540-0005 大阪市中央区上町1丁目1番28号 ☎(06) 6767-1110(代) FAX(06) 6767-1263
名古屋事務所 〒451-0041 名古屋市中区錦1丁目10番10号 ☎(052) 581-6911(代) FAX(052) 581-6929
福岡事務所 〒810-0045 福岡市中央区草香江1丁目7番18号 ☎(092) 722-1611(代) FAX(092) 722-1612
技術研究所 〒170-0004 東京都豊島区北大塚1丁目15番5号 ☎(03) 5907-5508(代) FAX(03) 5907-5509
営業所 広島・高松

URL: <http://www.toho-leo.co.jp>

E-mail: leo-g@toho-leo.co.jp